

<b>【技術の名称】</b> AHBS 構法 (安藤ハザマ複合構造梁構法) ースパン中央部S造、材端部RC造またはSRC造の複合構造梁構法ー (改定2)	性能証明番号 : GBRC 性能証明 第 04-01 号 改 2 性能証明発効日 : 2024 年 6 月 7 日 <b>【取得者】</b> 株式会社安藤・間
--	--

### 【技術の概要】

本技術は、スパン中央部を鉄骨造(S造)とし、材端部を鉄筋コンクリート造(RC造)または鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)とする複合構造梁を構築する構法である。本構法の特徴は、スパン中央部をS造とすることで自重を軽減し、梁全体の剛性を確保した上で、RC造またはSRC造の材端部で十分な塑性変形能力が確保されるように、材端部の補強詳細を定めている点である。

### 【改定の内容】

- 新規 : GBRC 性能証明 第 04-01 号 (2004 年 5 月 11 日)  
改定 1 : GBRC 性能証明 第 04-01 号 改 (2009 年 11 月 10 日)
- 中央部 S 造断面に降伏ヒンジを計画する設計方法の追加
- 改定 2 : GBRC 性能証明 第 04-01 号 改 2 (2024 年 6 月 7 日)
- コンクリート強度の適用範囲拡大 (材端部 RC 造とし中央部 S 造断面で降伏ヒンジを計画する場合)
  - 材端部上下で異強度コンクリートを打ち分ける場合の設計方法の追加
  - 設計式の一部変更 (設計用せん断力の割り増し係数)

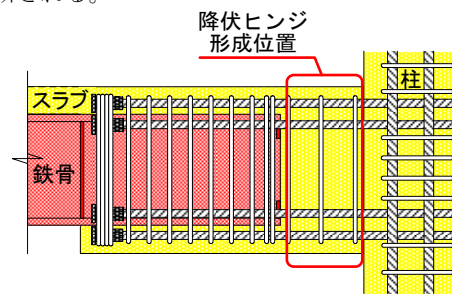
### 【技術開発の趣旨】

本技術は、RC 造または SRC 造に対して設計で要求される構造性能を有し、スパン長が比較的大きくしかも軽量の複合構造梁を構築することを意図して開発したものである。

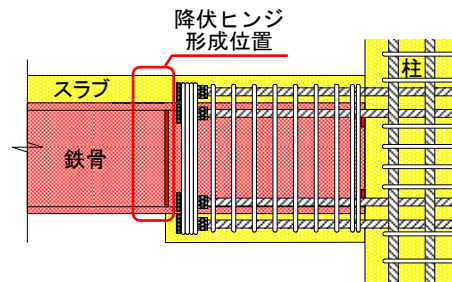
### 【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。  
申込者提案構法による複合構造梁は、同構法設計指針

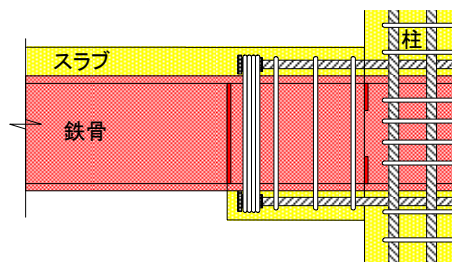
で提示している安全限界耐力を有し、かつ、使用限界時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、損傷限界時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさないと判断される。



a) 材端部RC造 (材端部のRC断面に降伏ヒンジ)



b) 材端部RC造 (鉄骨造端部の鉄骨断面に降伏ヒンジ)



c) 材端部SRC造

図-1 AHBS 構法の適用範囲



写真-1 実施例

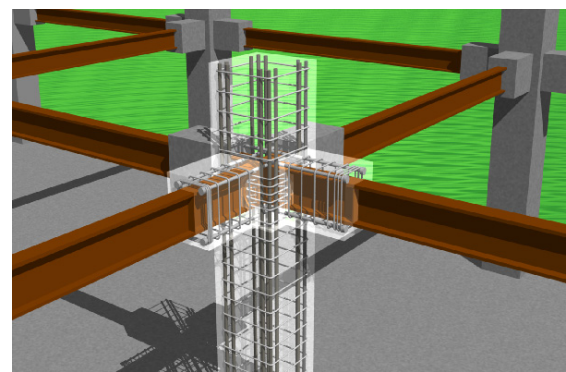


図-2 AHBS 構法の例 (材端部 SRC 造)

### 【本技術の問合せ先】

株式会社安藤・間 技術研究所 担当者 : 古谷 祐希  
〒305-0822 茨城県つくば市荻間 515-1

E-mail : koya.yuki@ad-hzm.co.jp  
TEL : 029-858-8800